



くさばな しんぶん

年度末号

2020 (令和2) 年
3月18日発行
通算第290号

私のおすすめの絵本

(この欄は教職員が交代で担当します)

《感謝 退職されるお二人へ》

この3月末で、塩野先生と神谷先生が退職されることになりました。本来ならば、離任式を行い、卒園児やその保護者の方々にもお声をかけて、ゆっくりお別れを惜しんでいただくところですが、新型コロナウイルスの感染の終場が見えず、その予定は今立てられない状況です。このため、園児とは17日にホールでお別れの会を開きました。

塩野先生は、お嬢さんが当園の年中さんに在園の時に赴任されました。それから早19年。栄養計算から調理作業まで、神経を使うお仕事をご自分の健康管理をされながら、一生懸命やり遂げてくださいました。調理のための健康管理も、それ自体、毎日のことですので、たいへんだったと思います。毎年のクリスマス会や、年度末のお別れ会食会では、ホールでみんなで食べるのですが、そうしたときは先生自身のメニューで食卓が華やいものになっていました。また、先生は片や書道の達人です。ご自宅で書道教室を開いておられます。どうぞそちらの方でもご活躍ください。本当にありがとうございました。

神谷先生は、学校を出てすぐに当園に赴任され、この3月末でまる5年が経つところです。いつも朝早く出勤、明るく一生懸命保育をしてくださいました。保育者のタイプとして幼稚園の先生らしい先生だったと思います。5年ではまだもったいないと思うのですが、またさらに人生や仕事の経験を積んで、人間的にもますます成長して行って欲しいと願っています。ありがとうございました。

《園歌の作曲者 竹内新吉さん逝く》

園歌の作曲者である、竹内新吉さんが昨年暮れに亡くなりました。享年82歳でした。大晦日がご葬儀の日で、その日の朝に報に接した私は、慌てて式場に駆けつけることができ、なんとか不義理をしないで済みました。

竹内さんはお若い頃から音楽に秀で、その歌声は素晴らしく、NHKの「のど自慢」で合格した経歴もあります。イタリアのカンツォーネの歌声をCDアルバムに収めてもいます。また、ソシアルダンスもお得意で、ダンディーでもおられました。

先代理事長と面識があり、理事長が作詞したものにメロディーをつけてくださいました。

よくご存知のように、分かりやすく幼児にも覚えやすいメロディーです。

竹内さん、ありがとうございました。安らかに眠ってください。これからも子どもたちがずっとずっと歌い続けて行くことでしょう。

至心迎向 雅趣吉祥居士 成三菩提也 合掌

理事長 山城 清邦



《今年度が終了いたしました》

18日(水)にもり組、かみ組の終業式、19日(木)にやま組が卒園式を行い、本年度も終了の日を迎えることとなりました。今年度は、認定こども園1年目ということで、気持ちも新たに出発いたしました。お子さまたちが楽しく園生活を送れるよう、教職員一丸となって保育にあたってきました。毎日接しているとなかなかお子さまたちの成長に気づかないところもあると思いますが、お子さまたちの1年前の様子を思い返してみると、驚くほどの成長が見られています。私たちの

気づかないところで、しっかりと成長をしているお子さまたちの持っている力に助けられながら、私たちもこの1年をお子さまたちとともに楽しく過ごすことができました。年長さんは4月から小学校、年中・年少さんは一とお兄さん、お姉さんになりますが、それぞれの場所でお子さまひとりひとりが活躍し、さらなる成長を遂げることを楽しみにしております。

最後になりましたが、この1年、保護者の皆さまにおかれましては、日々、ご協力とご理解をいただきまして、本当にありがとうございました。不十分な点も多々あったと思いますが、常に温かく見守ってくださった保護者の皆さまに感謝いたします。また、今年度は、新型コロナウイルスの影響で、子ども会に続き、誕生会、卒園式も形式や規模を変えたり、時間も短縮せざるを得ず、お子さまたち、保護者の皆さまには大変寂しい思いをさせてしまい、とても残念でした。1日も早く終場を迎え、通常の生活に戻れる日を願うばかりです。

やま組以外のお子さまは、明日から春休みに入りますが、くれぐれもけがや事故にはお気を付けてお過ごしください。

園長 影山 幸江

「きょうのおはなしなあに 春・夏・秋・冬」 ひかりのく



10年くらい前までは、毎月の誕生会で、園長として毎回おはなしをしてきました。それも、素話(すばなし)でした。先代八坂富子園長がそうして来たからです。素話は、ことばと仕草のみで展開して行かなければならず、相当苦心しました。さあ今月は何のおはなしをしようか、このおはなしは素話にうまくまとめられるだろうか、ストーリーの展開がうまくできるか、胃の痛む思いでした。そうしたとき、一番頼りになったのが、この「きょうのおはなしなあに」シリーズ。春夏秋冬の4冊です。古今東西の有名なおはなしや新作のおはなしと絵が、要領よく見開き2ページにまとめられています。

じつは、そうしたおはなしもさることながら、絵がなかなかです。たぐさんの画家が動員されているのです。岩崎ひろ、長新太、船崎克彦、柳原良平、井江栄、朝倉摂などなど。編集者の意気込みが感じられます。絵を見ているだけでも楽しいですよ。

このシリーズの副題は、「good night stories」。おやすみ前のひととき、ふとんのなかでお子さま方と一緒に絵を眺めながら読んであげるのもよし、明かりを消して素話をしてあげるのもよし。子育ては、後から振り返ると一瞬の歳月です。その一瞬を豊かに生かすために、ご参考になさってみてください。

山城 清邦



塩野先生、神谷先生、ありがとうございました。

先日、お知らせしましたように、今年度を持ちまして、塩野 恵栄先生と、神谷 帆乃香教諭が、退職することになりました。本来であれば、離任式等を行い、皆さまに直接ご挨拶をするところなのですが、今回は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、離任式を行うことができませんので、紙面に2人のメッセージを載せることにいたしました。

この度、退職することになりました。栄養士として、十数年が経ち、子どもたちの笑顔に支えられ、給食業務を行ってきました。「おいしかった。」「給食全部好きだよ。」と言ってくれたお子さま、「食べられた。」と苦手を克服したお子さまもいて、成長のお手伝いできたなら、嬉しいと思います。保護者の皆さまからも声をかけていただき、やりがいを感じる事ができました。自身の都合でハトタッチをしますが、今後とも、草花幼稚園の発展を皆様とともに願っております。無事に終えることができたこと、心より感謝申し上げます。

栄養士 塩野 恵

5年間、温かく見守っていただきありがとうございました。お子さまたちと笑って、泣いて、考えて、喜んで、本当にかけがえのない時間を過ごすことができました。いつも優しい言葉を掛けてくださった、保護者の皆さまにも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

教諭 神谷 帆乃香

